

都市再生整備計画 事後評価シート
唐津市中心市街地地区

平成25年3月

佐賀県唐津市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	佐賀県		市町村名	唐津市		地区名	唐津市中心市街地地区		面積	190ha		
交付期間	平成20年度～平成24年度		事後評価実施時期	平成24年度		交付対象事業費	2,665.2百万円	国費率	0.427			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	事業名 道路(埋門海水浴場線道路改良、菜畑西の浜線道路改良、東城内町田線新設)、公園(舞鶴海浜公園整備)、地域生活基盤施設(松浦河畔緑地整備、唐津駅駐輪場整備、耐震性貯水槽整備)、高質空間形成施設(木綿町線カラー舗装、大名小路西の門線歩車道差解消、明神線歩車道差解消、二の門堀緑地歩道整備)、既存建造物活用事業(観光交流センター(旧唐津銀行整備))								
			提案事業	地域創造支援事業(緊急災害時給水対策事業)、まちづくり活動推進事業(UDのまちづくり実施計画作成、啓発活動、街なか居住プラン調査、街なか誘導バス社会実験)								
	当初計画から削除した事業		基幹事業	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			提案事業	まちづくり活動推進事業(唐津城400年まちづくり推進事業)		事業計画の見直しにより削除		影響なし				
	新たに追加した事業		基幹事業	公園(まちかど公園整備)、高質空間形成施設(菜畑西の浜線街路灯整備)		市街地の整備効果向上を目的として追加		影響なし				
提案事業			地域創造支援事業(唐津市民交流プラザ整備事業、唐津市民交流プラザ(市民活動拠点施設、FM施設、子育て支援施設)整備事業、空き店舗チャレンジ誘致事業)、事業活用調査(文化的資源を活用した城内まちづくり計画策定、まちづくり交付金事業効果分析調査)、まちづくり活動推進事業(大手口広場オープンガーデン社会実験、旅館・ホテルとのコラボ社会実験、歴史的資源調査発掘事業、空き店舗チャレンジ誘致事業)		事業効果向上を目的として追加		影響なし					
交付期間の変更		当初	平成20年度～平成24年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		影響なし					
		変更	なし									
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)		フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み			予定時期
	指標1	唐津市中心商店街通行量(平日・休日)	人/日	8,423	H19	9,600	H24	9,265	△	あり なし	・天候の影響から想定より伸びず目標値を下回る見込みとなったが、天候が晴れであった調査年度の通行量はともに従前値より増加しており、一定の事業効果は確認された。 ・依然として空店舗率は高く、イベント時以外での通行量の伸びに影響していると考えられる。	H25年7月
	指標2	街なかエリア居住人口	人	1,758	H19	1,850	H24	1,801	△	あり なし	・市民活動拠点や交流拠点としての役割を持つ中心的な事業である唐津市民交流プラザの開業が間もないため、居住人口の増加にあまり繋がらず、従前値を上回ったものの目標値を達成には至らない見込みである。	H25年4月
指標3	観光文化施設入場者数	人/年	111,449	H18	131,000	H24	151,147	○	あり なし	・評価値が目標を達成する見込みであり、事業効果が確認された。 ・街なか誘導バスとの連携や商店街でのイベント開催等により賑わいが創出され、まちなかの魅力が向上し、観光客の増加に寄与した。	H25年4月	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)		フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み			予定時期
	その他の数値指標1	唐津土曜市集客人数	人/年	45,000	H19			50,100			・中央商店街を中心に開催される唐津土曜夜市の集客人数の変化を調べたところ、平成19年度から5,100人の増加が見込まれる。 ・計画事業の実施によって、商店街のにぎわいの増加やアクセシビリティの向上が図られ、また、周辺施設の整備等により、集客人数の増加に寄与したと考えられる。	H25年7月～8月
その他の数値指標2	JR唐津駅乗降客数	人/年	1,552,876	H19			1,604,000			・道路をはじめとする公共施設整備や観光文化施設の整備、街なか誘導バスによるアクセシビリティの向上などが重なり合い、乗降客数が増加したと考えられる。 ・唐津駅駐輪場の整備が完了した平成22年度から駅の乗降客数が伸びており、一定の効果があったと判断できる。	H25年5月	
4) 定性的な効果発現状況	二の門堀緑地の遊歩道の整備により、遊歩道の凸凹が解消され、地元からも好評の声が聞かれた。											
5) 実施過程の評価			実施内容			実施状況			今後の対応方針等			
	モニタリング		毎年公表される統計データを確認し、指標の値の推移を把握			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 今後もデータの推移を確認し、効果の把握を行う。			
	住民参加プロセス		唐津市まちなか再生ユニバーサルデザイン計画に伴うワークショップ			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 今後も関係団体と連携しながら、本計画に沿って事業に取り組む。			
			唐津城石垣再築整備事業に係るイベント			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 石垣の再築整備を行うためには寄付等の協力が必要であり、事業への理解を深めていただくために引き続き定期的に現地説明会等を行う。			
			まちかど公園整備に伴うワークショップの開催			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 公園の使われ方を定期的に確認し、今後の公園整備に反映する。			
			街路整備と一体となった魅力あるまちづくりを進め地域の活性化につなげるためのまちづくりの会の設立			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 地域コミュニティの形成のひとつとして検討しているポケットパークの設置については、具体的な計画案に対してまちづくりの会の意見を反映していく。			
			文化的資源を活用した城内まちづくり計画策定に伴う策定委員会及びワークショップ			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 平成24年4月に発足した「まちはミュージアムの会」などの民間団体と連携しながら計画に掲げた事業を進めていく。			
			「唐津遺産百年プロジェクト」協議会の設置、意見交換			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● まちなみ保存と文化的資源を活用したまちづくりを推進するために、継続的に意見交換を行っていく。			
			空き店舗チャレンジ誘致事業での出店応募者の選定組織の結成			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 今後も継続して出店応募者の選定を行い、商店街の魅力向上に繋げていく。			
	持続的なまちづくり体制の構築		まちづくり会社「いきいき唐津株式会社」による中心市街地活性化事業の実施(株主総会資料等で活動状況の確認を行った。)			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 今後も継続して官民連携によりハード・ソフトの両面から中心市街地の再生に取組み、事業効果の拡大につなげていく。			
		まちなか再生推進グループによる中心市街地活性化事業の実施(会議報告で活動状況の確認を行った。)			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 今後も継続して官民の連携を強化し、事業効果の拡大を図っていく。				

